

2018年度(平成30年度)事業報告

公益財団法人西日本国際財団

I. 2018年度事業報告

2018年度の事業計画に基づき、人物交流活動並びに国際化・国際交流に関する啓発広報活動の他、九州・沖縄・山口地域における諸団体の国際交流事業に対する後援・助成などの事業を行いました。財団設立15周年にあたる平成12年3月から始めている「西日本国際財団アジア貢献賞」は、今回で第20回目の授賞式を実施いたしました。

併せて、財団設立20周年記念特別表彰として創設した、次代を担う子供たちの国際交流を支援するための「西日本国際財団アジア Kids 大賞」は、今回で第14回目の授賞式となりました。また、アジア貢献賞創設20周年を記念して記念フォーラムを開催しました。

以下、事業内容をご報告いたします。

一. 人物交流事業

1. 福岡在住、来訪の諸外国人との交流

(一) 福岡在住の外国人間の交流活動を活発に行うために、国際相互理解促進と今後の多国間の交流促進についてリーダーとなるべき人たちのネットワーク作りを行い、地域一体となって問題解決や交流活動をすすめる交流会「国際交流クラブ」を定期的に行いました。

(二) 福岡在住の外国人留学生と元留学生及びその家族との交流を深めるため、福岡県留学生会、九州大学留学生会等に支援を継続するとともに、外国人留学生のための茶道教室を定期的を開催し、その他にも日本の産業文化体験フィールドトリップ(宗像・沖ノ島関連遺産群)、宮崎県椎葉村日本文化体験研修、餃子・ラーメン調理体験実習(一風堂チャイルド・キッチン)等の事業を行いました。

二. 国際化啓発広報事業

1. 国際化・国際交流に関する意識高揚

(一) 顕彰制度の実施

第20回目の「西日本国際財団アジア貢献賞」の授賞式を3月7日に開催いたしました。

九州・沖縄・山口地域からの推薦で18の団体・個人の候補者の中から、候補者選考委員会、審査委員会での審査の結果、有光武元氏、大分高专足踏みミシンボランティア部、松本敏秀氏の2個人・1団体を表彰しました。

また、アジア貢献賞創設20周年記念特別賞として弓場秋信氏を表彰しました。

引き続き同日に第14回「西日本国際財団アジア Kids 大賞」の授賞式を開催し、九州・沖縄・山口地域からの推薦で5つの候補者の中から、愛の泉保育園・愛の泉学童クラブ、能古島青少年育成協会の2団体を表彰いたしました。

(二) アジア貢献賞創設20周年記念フォーラムの開催

アジア貢献賞創設20周年を記念して、アジア貢献賞授賞式と同日の3月7日に記念フォーラムを開催しました。

【アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム】

(1) 第一部 基調講演

タイトル: 「アジアとは何か～激変する世界における役割～」

講演者: 宮本雄二氏(宮本アジア研究所所長、元駐中国大使)

(2) 第二部 パネルディスカッション

テーマ: 「アジアと共に歩む日本～今後の課題と役割～」

ファシリテーター: 宮本雄二氏

パネリスト:

井本勝幸氏(ミャンマー統一民族連邦評議会コンサルタント)

加藤暁子氏(公益財団法人 AFS 日本協会 理事長)

川崎隆生氏(西日本新聞社取締役会長、アジア貢献賞審査委員長)

コブカーン・ワタナワランクン氏(タイ王国前観光・スポーツ大臣)

2. 地域国際交流イベント参加による国際協力及び地域寄与

(一) 第30回アジア太平洋子ども会議・イン福岡への協賛

NPO アジア太平洋子ども会議・イン福岡が主催する事業のひとつ、ウィングキッズプログラム「第9期スタディツアー」に協賛しました。

(1) 実施日 2019年3月23日(土)～3月27日(水)

(2) 派遣先 台湾

(3) 参加者 小学校5、6年生30名、引率ボランティア6名

(4) 内容 アジア太平洋子ども会議の小学生30名を台湾に派遣し、現

地の小学校等で福岡や日本の紹介をしたり、ホストファミリー・現地の子ども達との交流を深め、日本人としての誇りを持ち、海外での経験を活かすことを目的にスタディツアーを実施しました。

(5) 主催 NPO アジア太平洋こども会議・イン福岡

なお、今回協力したアジア太平洋こども会議では、アジア太平洋・地域35ヶ国・45団体、234名のこども大使、45名のシャペロン(引率者)、24名のピース大使を招へいし、福岡のこども達、ボランティア、青年会議所メンバー、一般市民などが参加し、交流キャンプ、ホームステイ、発表会、パフォーマンスイベントなど、7月を中心に様々な行事が実施されました。

(二) アジアフォーカス・福岡国際映画祭2018への協賛

アジアンパーティ期間中に地域イベントの1つとして地域社会へ貢献する目的で毎年参加しています。

- (1) 実施時期 2018年9月14日(金)～23日(日)
- (2) 会場 キャナルシティ博多、ぽんプラザホール
- (3) 内容 アジア各国・地域の新作、日本未公開作品等を上映
- (4) 主催 アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会

(三) 「地球市民どんたく2018」への協賛

国際協力活動及びその活動を支えるNGOについての市民の理解やNGO間の情報交換と連携を深めるとともに、福岡に国際協力についての情報発信と活動の拠点をつくることを目指した、国際協力セミナーやNGO活動紹介事業に協賛いたしました。

- (1) 実施時期 2018年11月18日(日)
- (2) 会場 天神中央公園、アクロス福岡2階セミナー室
- (3) 内容 NGOなど参加16団体の活動紹介ブース展示およびワークショップ
- (4) 来場者 約5,000人
- (5) 主催 地球市民どんたく2018実行委員会

(四) 「第9回日本語おしゃべり発表会および多文化共生パネル展」への協賛

北九州市に暮らす者同士の相互理解と多文化共生社会の推進を図ることを目的とした多文化共生パネル展ならびに、北九州市内の地域日本語教室で学習する外国人市民等が個々の日本語レベルで自由に意見を発表する「第9回日本語おしゃべり発表会」に協賛しました。

- (1) 実施時期 2019年2月3日(日)

- (2) 会場 北九州市立こどもの館 子どもホール
- (3) 内容 市民センター等を拠点とする18ヵ所及び北九州近郊の日本語教室で学習する外国人市民等が、個々の日本語レベルで自由に意見を発表する場を提供し、学習のモチベーション向上に繋げるとともに、日本人市民が外国人市民の声を聴く機会としています。
- (4) 観覧 入場無料
- (5) 入場者数 250名
- (6) 出場者 30名(北九州市及びその近郊に在住する外国人市民)
- (7) 表彰 観客等の投票により6名を表彰
- (8) 主催 公益財団法人北九州国際交流協会

(五)「アジア映画鑑賞会中学生招待事業」の実施

毎年福岡市で開催されているアジアフォーカス・福岡国際映画祭事業の関連事業として、地域と関係の深いアジアで制作された教育的・文化的価値の高い映画の鑑賞会を中学生向けに当財団が主催して開催し、青少年のアジアに対する国際理解を進める一助としました。

- (1) 実施時期 2018年9月26日(水) 午後2時～5時
- (2) 会場 イオンシネマ戸畑
- (3) 内容 マレーシア映画「光」
- (4) 招待者 北九州市内中学校3校の中学生・教職員約320名
- (5) 主催 公益財団法人西日本国際財団

三 国際化助成事業

以下の国際交流事業についてその主催団体に対して所要資金の一部助成・後援を行いました。

1.文化交流事業

- ・第6回日中児童友好絵画展
[主催：NPO 法人社会教育団体ベルポ会] ～助成金 20万円
- ・第4回箱崎中学校と韓国順天市との中学生のホームステイ交流事業
[主催：東箱崎校区自治会連合会国際交流委員会] ～助成金 15万円
- ・カンボジア地雷撤去キャンペーン20周年記念事業
[主催：カンボジア地雷撤去キャンペーン] ～助成金 20万円
- ・ラグビー日韓交流親善試合
[主催：ラグビー日韓交流親善試合実行委員会] ～助成金 15万円
- ・大分県内留学生との交流会
[主催：交流会”日出町“] ～助成金 15万円

- ・第17回北九州ハングル弁論大会
[主催：北九州ハングル弁論大会実行委員会] ～助成金 9万円
 - ・日本車椅子レクダンス協会日韓交流事業
[主催：NPO 法人日本車椅子レクダンス協会] ～助成金 20万円
 - ・ベトナム民族アンサンブルコンサート
[主催：ベトナム民族アンサンブルコンサート福岡公演実行委員会]
～助成金 10万円
 - ・韓国語スピーチ大会
[主催：楽しもう韓国語福岡大会実行委員会] ～助成金 12万円
 - ・第32回日韓親善少年柔道大会
[主催：佐賀県柔道協会三神支部] ～助成金 12万円
 - ・ネパールフェスティバル 2019
[主催：ネパールフェスティバル実行委員会] ～助成金 10万円
 - ・ナマステ福岡 2019
[主催：ナマステ福岡実行委員会] ～助成金 20万円
-
- 12件 小計 178万円

2. 国際友好親善会・スタディツアー等開催

- ・鹿児島県青少年国際協力体験事業
[主催：鹿児島県青少年国際交流体験事業実行委員会]
～助成金 20万円
 - ・第4回大学生グローバル起業カンファランス&交流会
[主催：グローバル人材活躍応援事業実行委員会] ～助成金 20万円
 - ・韓国帰国留学生訪問事業
[主催：福岡帰国留学生交流会] ～助成金 6万円
 - ・ミドリゼーションプロジェクトinヨルダン
[主催：一般社団法人ミドリゼーションプロジェクト]
～助成金 10万円
 - ・パラオにおけるエコツーリズム推進事業
[主催：愛未来] ～助成金 20万円
-
- 5件 小計 76万円

3. 緊急援助案件

- ・Lotra Sfafi Hospital 病院修復事業
[主催：NPO 法人 KETOY.jp] ～助成金 30万円
-
- 1件 小計 30万円
合計 284万円

四. 2018年度事業の付属明細書

記載すべき事項はありません。